

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシ・ロジスティクス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

種字制作：株式会社クرائمエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞®

社成長の専門家
りんくグループ

税務・会計・経営支援

ちょうどいい
りんく

☎ 042-730-7891
www.link-tax.com

2020年6月号 Vol.078

かながわ経済新聞 2020.6月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

アウトソーシング(外部委託)活用法
第6回：アウトソーシングのデメリット

今回はアウトソーシングのデメリットについて詳しく説明します。大きなデメリットの一つは「情報漏えい」のリスクが高まることです。情報システムの発展に伴い、2005年に「個人情報保護法」が施行されました。これを機に、企業には情報管理の徹底が求められています。その中で、アウトソーシングの業務範囲は一般事務のほか、個人情報を扱う部門やカスタマーサポート、データセンターの運営などが含まれるようになり、外部会社が個人情報を含む企業機密を扱う機会が増えました。そのため、自社業務をアウトソーシングすることは、これらの機密情報が漏えいするリスクが少なからず存在します。

近年ではハッカーやサイバー攻撃も多く発生するようになり、その脅威は日に日に増えています。こういう点においてもアウトソーシングを活用する際は、情報漏えいリスクを考慮した上で実行・判断していかなければなりません。

また、もう一つのデメリットは「企業統治の弱体化」です。社内業務をアウトソーシングすることで、業務がど



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

のように進められているかを把握する機会が失われ、企業統治が弱体化するデメリットが生じます。どのような工程で業務を効率化・品質向上しているのかが見えにくいために、依頼側との認識がずれる可能性も出てきます。しかし、現在では電話やメールに限らず、チャットなどのリアルタイムで業務を報告できる手段が増えてきていることでこれらの弱点をカバーできるようになってきています。

以上が前々回からテーマとしてきたアウトソーシングを活用する上でのメリット・デメリットとなります。このほかにも、まだ考えられることはいくつもあると思います。アウトソーシングを活用する上で、これらの事柄は大切ではありますが、一方で同じく重要なことがあります。それは活用する側、つまり自社における分析(長所・短所)であります。自社の分析がきちんと行われていないと、アウトソーシングを活用しても、より多くのメリットを生み出すことが難しいといえます。逆に、自社の分析をしっかりとしていれば、アウトソーシングでさまざまな効果が生まれてくるのです。

(ミヨシ・ロジスティクス代表取締役/南西フォーラム委員長)